

「ずっとこのまちで暮らしたい」

という想いを実現するために

皆さんの「ふくし」のイメージって、どのようなものですか？

「自分には関係がない」「まだまだ先のこと」と思っていないですか。

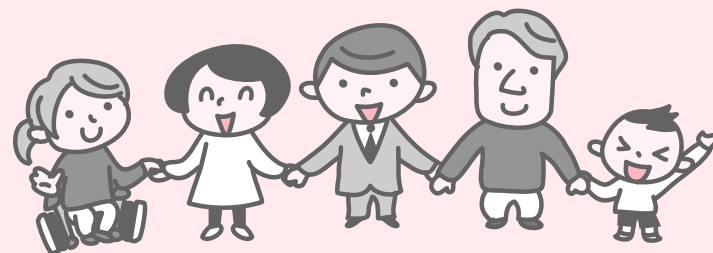
私たち島本町社会福祉協議会（以下、島本町社協）は、

住民の皆さんの「ずっとこのまちで暮らしたい」という想いを実現するために、

心だんのくらしのしあわせを支える活動（事業）に取り組んでいます。

例えば

- ◆ 困っていることを相談したい
- ◆ 自分の特技を生かしたい
- ◆ 悩みを話せる仲間が欲しい
- ◆ 好きなところへ外出したい
- ◆ 「ふくし」について知りたい
- ◆ 将来も安心して暮らせるまちにしたいなど



島本町社協の取り組みを簡単にご紹介します

小地域ネットワーク活動

島本町内のおおむね小学校区ごとに設置された、4つの地区福祉委員会ごとに行っています。

◆ いきいきサロン

年長者が気軽に出席けられる憩いの場、仲間づくりや生きがいがつくりの場です。

◆ 子育てサロン

小さな子どもと保護者が集い、交流する場です。親子が地域の方と出会い、遊びを通じて子どもの成長について学んだり、子育てについて相談することができます。親子で友だちの輪も広がります。

◆ 配食サービス

年長者などへの見守り、安否確認を目的として、手作りのお弁当を届けています。

◆ 世代間交流事業

ハイキングやグラウンドゴルフ、年長者と小学生の年賀状交流など、さまざまな世代の地域住民が交流できるよう取り組んでいます。



ボランティアセンター

ボランティアに関するあらゆる相談を受けるほか、ボランティアの育成と活動の支援、小中学校や高校での福祉教育の支援などを行っています。



コミュニティソーシャルワーカー(CSW)相談

個人の悩みや地域の困りごとの相談を受けます。島本町社協では4人のCSWが活動しています。

日常生活自立支援事業「みまもーる」

判断能力に不安があっても、できる限り地域で自立した生活を続けられるよう、福祉サービスの契約や利用に関するお手伝い、日常の金銭管理などを行います。

生活自立相談窓口

働きたくても働けない、引きこもりで将来が心配など、生活・仕事・お金で不安を抱えた人に寄り添い、自立に向けた支援をします。

在宅福祉サービス

年長者や障害者が自宅で安心した生活を送れるような支援（ホームヘルパー、ガイドヘルパー派遣）、福祉サービスを利用できるように一人ひとりの状況に合わせた計画を考えていく（ケアマネジャー）事業を行っています。



ほかにも

共同募金（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動）や献血子育て支援、車いす等の福祉機器貸し出しなど、地域に住んでいるすべての人を対象にして活動しています。



社協サポーターとして、 会員会費のご協力を お願いいたします。



会員になるには
どうするの？

毎年4月～6月を強化月間として、自治会のご協力を得て加入を呼び掛けています。加入は皆さんの意志による自主的なもので、強制されるものではありません。

なお、年間いつでも加入いただけますので、お近くの福祉委員または社協へご連絡ください。

会費ってなに？

「募金」や「寄付」ではない理由は、だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくりを、住民自らが推進していくことを目的としているからです。「自分たちのために、自分たちでお金を出し合い、自分たちで決める」。これが会員会費の考え方となります。

会費の使いみち

